

近日公開！万博体操 「きみの笑顔がすきだから」7月に万博会場で披露

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野 重夫)は、幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブ(本社所在地:東京都品川区、代表取締役:山下孝一)と連携し、万博体操を企画・発案した。4月に開幕する 2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)において、7月に出場を予定している。

万博会場での出展は7月に3回

◆7月13日(日)

会場:ポップアップステージ北
#万博音頭プロジェクト を万博首長連合と協働したスターダスト河内(大阪府枚方市)のステージに出場予定です。

◆7月21日(月祝)

会場:TEAM EXPO パビリオン
TEAM EXPO 2025 において、枚方市を共創パートナーに迎え、万博体操誕生の基盤となる【HGG～人と協力する体操～】および万博体操に関する展示を行います。

◆7月26日(土)

会場:ポップアップステージ北
春日東野幼稚園とコスモスポーツクラブ単独でのステージを披露します。



「いのち輝く未来」を生きる 子どもたちの心を育む体操を目指して

これまで春日東野幼稚園とコスモスポーツクラブの共同指導において培ってきた幼児教育現場の経験をもとに万博体操は生まれました。

- ① 低月齢から少しずつ、無理なく体幹を鍛えること
 - ② 人の話を聞く力、友達と協力する社会性、頑張ろうとする意志の力を育む
- 上記2点をベースとして、本園園児にとどまらず多くの子どもたちが、たくさんの国や地域・多様な世代の人々と、体操を通して触れ合うことを目的として企画したものです。

万博体操プレお披露目・お披露目会を開催します

プレお披露目 日時:3月15日(土)13時～
催し名 :第4回 咲洲 World Healthy Festa! イベント内
場所 :大阪南港 ATC 海辺ステージ・ウミエール広場(雨天時:ATC 館内で実施)

本お披露目会 日時:3月24日(月)10時～11時 場所:春日東野幼稚園 講堂

【本件取材等に関するお問い合わせ先】 学校法人谷野学園 春日東野幼稚園 担当:谷野智英子
電話:072-858-3311 FAX:072-858-2006
e-mail: kasugahigashino415@gmail.com

広がる子どもたちの知識と世界観！

大阪府 枚方市「春日東野幼稚園」 × 沖縄県 名護市「ナゴパイナップルパーク」 第一回オンライン保育を実施

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野 重夫)とナゴパイナップルパークを運営する株式会社名護パイン園(沖縄県名護市、代表取締役社長:安里 清高)は、2月7日(金)、交流事業の第一回オンライン保育を実施しました。

◆実施内容◆

参加したのは年少組園児。すべてのクラスで、事前に沖縄やパイナップルについての話を聞くなどして臨みました。講堂のスクリーンにパイナップルパーク広報部長佐々川氏が映し出され、説明と共に表示されるスライド画面を見ながら名護パイン園の歴史やパイナップルについて学びました。

お話の最後に幼稚園職員によるふりかえりを行い、園児からはナゴパイナップルパーク公式テーマソング「パッパ パイナップル！」のダンスを園児が披露。

その後、園児と職員からの質疑応答があり、オンライン保育は終了しました。



◆各クラスでのふりかえり◆

各クラスに帰った後、学んだことのふりかえりを行いました。

下記のように担任の先生の質問に子どもたちが答えることで、知識を定着させていきました。

・ふりかえりの様子

担任	「大阪でパイナップルは育つかかな？」
子どもたち	「育たないって言ってた！」
担任	「なんで育たないのかな？」
子どもたち	「土がちがうから！」
担任	「パイナップルはどこから甘くなるのかな？」
子どもたち	「下から甘くなっていく！」



◆今後の展望◆

子どもたちがパイナップルの生育を見守りながら、最終的に現地で収穫の体験を行う。

沖縄の伝統文化に触れると同時に、大阪の伝統文化を学び広める計画。

また、友好都市として提携する枚方市・名護市、または大阪・沖縄の交流事業に参画いただける企業・団体を募ります。

- 交流事業に参加を希望される幼稚園・保育園・認定こども園
- 園児の沖縄旅においての移動・宿泊等に協力いただける企業様
- 沖縄または大阪の特産物・名物を使った子どもが喜ぶ商品の開発や、コラボレーション企画に参加いただける企業・団体様 等
- 園児に大阪または沖縄の伝統文化を教えていただける団体様

■施設概要

学校法人谷野学園 春日東野幼稚園
所在地: 〒573-0137 大阪府枚方市春日北町 4 丁目
20 番 1 号
代表者: 園長 谷野 重夫
設立: 昭和 49 年(1974 年)2 月
URL: <http://kasugahigashino.net/>

【本件取材等に関するお問い合わせ先】
学校法人谷野学園 春日東野幼稚園
担当: 谷野 智英子
電話: 072-858-3311
FAX: 072-858-2006
e-mail: kasugahigashino415@gmail.com

食育・SDGs・文化交流で大阪と沖縄の友好都市をつなぐ！ 枚方市「春日東野幼稚園」×名護市「ナゴパイナップルパーク」 交流事業を開始

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野 重夫)とナゴパイナップルパークを運営する株式会社名護パイン園(沖縄県名護市、代表取締役社長:安里 清高)は、食育・SDGs・文化交流を軸に産学の連携で継続的な交流事業を始めます。今後、国内友好都市である枚方市・名護市の多角的な交流と共創の拡大に繋がる展開を行ってまいります。

■第一回交流会

2025年2月7日(金)10時30分～

両園をオンラインで繋ぎ、パイナップルにまつわるさまざまなことを園児が学びます。

今後、SDGs(沖縄のサンゴ保全の問題)や気候の異なる大阪と沖縄の文化の違いなどを継続的に学び、植えられたパイナップルの成長過程を、園児がオンラインを通じて見守りながら、最終的には現地へ訪問しての収穫体験、文化交流などを行う予定です。



■今後の展望

友好都市として提携する枚方市・名護市を軸に、大阪・沖縄に繋がる人・もの・文化の交流事業に参画いただける企業・団体を募ります。

- ・交流事業に参加を希望される幼稚園・保育園・認定こども園
- ・園児の沖縄旅においての移動・宿泊等に協力いただける企業
- ・沖縄・大阪の特産物を使った商品開発や・コラボレーション企画に参加いただける企業・団体 等

■「子育て世代に選ばれる枚方市・名護市」にむけて

人が集まり賑わいある街は、自治体、企業、教育機関にとって、何よりも大切な財産です。

文化交流を通じて他の地域を知ること、相互理解と共に子ども達が自分の生まれ育った地域をふり返し、郷土への理解を深める。産学が連携して事業を行うことで、地元企業や郷土を親しむ心を育み、文化を受け継ぐ、未来を担う子ども達の人材育成を目指します。

■会社概要

株式会社名護パイン農園

所在地：〒905-0005 沖縄県名護市為又 1195

代表者：代表取締役社長 安里 清高

設立：昭和54年(1979年)

事業内容：観光テーマパーク事業、お土産販売事業、通信販売事業、食料品製造加工事業、外食事業、パイナップル農業・造園事業

URL：<https://www.nagopine.com/>

■施設概要

学校法人谷野学園 春日東野幼稚園

所在地：〒573-0137 大阪府枚方市春日北町4丁目20番1号

代表者：園長 谷野 重夫

設立：昭和49年(1974年)2月

URL：<http://kasugahigashino.net/>

報道関係者各位

学校法人谷野学園 春日東野幼稚園

こどもの日に幼稚園児の組体操ショー in 東大阪市花園ラグビー場

～幼稚園と全国初の連携 ハーフタイムショーに組体操 選手と園児の交流も～

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野重夫)は、こどもの日の5月5日に行われるNTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023-24 シーズン最終節の 花園近鉄ライナーズ 対 三菱重工相模原ダイナボアーズ戦(東大阪市花園ラグビー場、大阪府東大阪市)ハーフタイムショーに組体操のパフォーマンスで出演する。



実施の背景 ①ラグビー×幼児教育 ②東大阪×枚方

本園では、かねてより地域のつながりから同志社大学ラグビー部との交流、ラグビー体験などを実施してきた経緯もあり、「ラグビーの文化」に親しんできた。日頃からスポーツや遊びを通してフィジカルを鍛え、協調性や健全な心身を育むことに取り組んできた園が、ラグビーの聖地である東大阪市花園ラグビー場のピッチに園児が立つ経験を通して、子ども達が家族ぐるみでラグビーに親しみ、その魅力に触れる機会とする。

さらには大阪・関西万博を目前に、大阪には多様な魅力あふれる街があることを知ることをねらいとする。

組体操のねらいは「心を一つにすること」

指導は幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブ(本社所在地:東京都品川区、代表取締役:山下孝一)の専門指導員と本園職員による。低年齢時期から日々園で取り組んでいる動きを基としたプログラムで、そこに「基礎的な身体作り」「規律」「機敏な動き」の鍛錬を重ねることにより、過去の事案により生まれた『組体操は危険』の概念を覆す組体操に取り組んできた。本来の目的である「子どもの身体作り」を踏まえた構成で臨む。

出演は今年度の年長組およそ80名。毎年秋の運動会で年長組が披露している組体操を、今回は巨大こいのぼりを模した「こどもの日バージョン」のパフォーマンスとして披露する。

●春日東野幼稚園 組体操についての過去のプレスリリースと過去の動画は、以下のリンクまたは右のQRコードよりご覧いただけます。

<https://www.atpress.ne.jp/news/372520>



終了後は花園近鉄ライナーズの選手と園児の交流の時間を持つ予定。

NTT ジャパンラグビー リーグワンのハーフタイムショーで、幼稚園が組体操を披露するのは初の試みとなる。

【本件取材等に関するお問い合わせ先】

学校法人谷野学園 春日東野幼稚園 担当:谷野智英子

電話:072-858-3311 FAX:072-858-2006 e-mail: kasugahigashino415@gmail.com

■取材案内 : 春日東野幼稚園 練習公開日 4月17日(水)、5月1日(水)

■取材対応 : 春日東野幼稚園 園長 谷野重夫

幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブ 関西・西日本事業部 部長 関内健

コロナ禍明けからの「挑戦する運動会」

体操の時間増枠、“ステイホーム”後の園児の身体作りを強化

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野重夫)では、令和 5 年度より保育時間中の体操の時間を大幅に増枠。幼稚園児による 3 段ピラミッド等の大技を含んだ組立体操の他、コロナ禍前よりもプログラムを増やし、今年度の運動会(10 月 7 日・8 日実施)を開催した。

■取り組みの背景■

コロナ禍では、幼児教育現場においても「ソーシャルディスタンス」「感染対策に配慮した」カリキュラムの実施を余儀なくされてきた。令和 5 年 5 月～新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、本園では年間カリキュラムの単位で体育指導の時間を増枠。生活様式の変化によって減少している園児の運動時間と体力に対応するための対策を講じてきた。



■実施概要■

兼ねてより提携してきた幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブ(本社所在地:東京都品川区、代表取締役:山下孝一)の専門指導員と本園職員による指導。

- パラバルーン(本園では例年年長組で実施) → 年中組で実施
- 組立体操(年長組) → 3 段ピラミッド一気立ちの実施。



■組立体操における安全対策

大阪府教育庁のガイドラインに沿い、各ピラミッドに職員の補助をつける。他のプログラムにおいても適切に補助職員を配置。

■指導のねらい■

体力の向上・協調性を基礎として、体操を通じて「何故ルールがあるのか」を学ぶ。
「失敗しながらも挑戦する心」を培い、一人一人の成長に寄り添いながら、資質を伸ばすきっかけとなる経験に繋げていく。



幼稚園でスマートデバイスを使った教育カリキュラム導入

小学校からの ICT 教育に先駆け、令和 5 年度より正課保育内で実施

春日東野幼稚園(大阪府枚方市、園長:谷野重夫)は、令和 5 年 4 月から、3~5 歳児クラスの全在園児を対象に、タブレット端末を使用した教育カリキュラムを正課保育時間内で導入します。



2020 年より 4 年かけて行われる予定の施策だった GIGA スクール構想は、新型コロナウイルスの流行により、全国的に前倒して実施されました。現在小学 1 年生から児童一人一人に専用のタブレットが支給されています。

一方、保護者のスマホ・タブレットを用いての動画視聴等、幼児期の子ども達の中でも既に「テレビの見過ぎ」から「動画の見過ぎ」に、懸念が移行している環境にあります。

本園では、スマートデバイスを娯楽目的だけでなく、楽しみながら学ぶツールとして子どもたちに使用してもらいたいと考え、子どもの好奇心を活かせる、これまでの紙のワークブックにはない教育教材を検討してきました。その中で、株式会社フレーベル館(本社所在地:東京都文京区、代表取締役社長:吉川隆樹)サポートのもと、株式会社ユニティ(本社所在地:大阪府大阪市西区、代表取締役:山下優之)が開発する「あそんでまなぶ! for スクール」の導入を決定しました。



言葉や計算、プログラミング等、子どもの発達段階に合わせた教育アプリを利用したカリキュラムを、年少・年中・年長組の全園児向けに令和 5 年度より実施します。

これまでも課外クラブでは、タブレット端末を使った教室は行ってきましたが、今回は就学前学習として全園児を対象に行います。併せて、使用時間を決めて学ぶなど、心と体に影響を及ぼさない適切なデバイスの使い方の習慣を身につけていくことを目指します。



使用機器は、本園卒園児の勤務先:株式会社坂口(大阪府枚方市、代表取締役:坂口貴啓)提供のもと、園所有のタブレット端末 30 台を導入します。今回の取り組みでは、学習意欲や思考力だけでなく、「卒園した園のために何かしたい」「子ども達への投資が、地域への貢献になれば」との想いで協賛いただいたこと自体も園児達と共有し、新しい形で『地域で子どもを見守り、育ててもらう』ことへの感謝の心を育みながら、次世代の地域社会の担い手を育むことも目指してまいります。